

# 平成28年度事業報告

中野区立療育センターアポロ園

療育センターアポロ園の事業運営目的は、「障害やさまざまな発達上の課題のある子ども達が、自分のもっている力を十分に発揮し、家庭や地域の中でともに生活ができるようになるための支援をする」こととしています。

平成22年4月から、社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会が、業務委託により4年間、民間経営のきめ細やかな支援や経費削減などに取り組んでまいりました。このような取り組みが評価され、平成26年4月1日から平成36年3月31日まで指定管理者として指定を受け運営を行うことになりました。

平成28年度は、指定管理者として3年目となり、26年度・27年度に取り組んできた、児童発達支援事業保護者アンケート、職員への職務満足度調査、各事業評価などを分析し改善を図るとともに、着実な事業の実施に向けて取り組んでまいりました。

## 1 職員配置（平成28年4月1日時点）

常勤職員：園長1人・事務職1人・児童指導員6人・保育士3人・心理職3人  
看護師1人・理学療法士1人・作業療法士1人 計17人

非常勤職員：心理職7人・保育士3人・理学療法士1人・作業療法士1人・言語  
聴覚士2人・看護師1人・事務職1人・歯科衛生士1人  
計17人

嘱託医師：小児神経医師1人・小児科医師2人・児童精神科医師2人・歯科医  
師1人・整形外科医師1人・水療育講師1人 計8人

## 2 事業実績

### (1) 児童発達支援事業

中野区内に在住し、障害福祉サービス通所受給者証の交付を受けた児童（医療的ケアを必要とする児童も含む）に対して、児童の年齢により2クラスに分けて支援を行いました。

#### ① 2歳児以下クラス（ラッコ）

- ・1日定員20人
- ・10時00分から13時00分、週2日親子通園

#### ② 3歳児以上クラス（コアラ）

- ・1日定員16人
- 10時から14時30分、週5日通園（週3日単独・2日親子通園）

利用実績・年間利用率等

- ・一日定員 36人
- ・利用実績 ①ラッコ1,872人(平成27年度 2,466人)  
②コアラ2,789人(平成27年度 2,659人)  
合計4,661人

- ・利用率 ①ラッコ 39.7%、②コアラ 73.9%、合計 54.9%(27年度 62.1%)

## (2) 療育相談事業

中野区内に在住する未就学児を対象としており、発達上の課題や障害があると思われる児や保護者の相談を受けアセスメントを行い対応方法の提案をしました。また、当園の児童発達支援事業、個別指導の初期インテークとして処遇方針を決定し提案しました。

- ・療育相談件数 117件(平成27年度 117件)

## (3) 保育園等巡回訪問事業

発達上の課題や障害があると思われる子どもが在籍する保育園・幼稚園などに、巡回訪問担当者が定期的に巡回し、対象児及び保護者への対応を保育者に対して提案、助言を通して支援を行いました。

- ・訪問延回数 372件(平成27年度 394件)
- ・対象児延べ人数 1,771人(平成27年度 1,954人)
- ・訪問園数 79園(平成27年度 79園)
- ・平均訪問回数 4.7回(平成27年度 5.0回)

## (4) 個別指導事業

保育園、幼稚園などの在籍児とその保護者に対して、家庭・在籍園での生活、または、地域での生活を支援するために、個々のニーズに応じた支援や訓練を行いました。

- ・指導件数 2,901件(平成27年度 3,009件)
- ・年間登録者数 195人(平成27年度 238人)

## (5) 一時保護事業

中野区内に在住する小学生以下の障害のある児童の保護者が、対象児を介護することが困難になったときに、児童を一時的に保護し、当事者の福祉の増進を図りました。また、医療的ケアの必要な児童を受け入れるとともに、緊急時の対応も行いました。

月曜日から土曜日 9時00分から18時00分(但し土曜日は16時00分迄)

- ・利用延件数 246件(平成27年度 196件)
- ・医療的ケア受入延件数(再掲) 4件(平成27年度 10件)

## (6) おもちゃライブラリー事業

発達促進と福祉の増進に寄与することを目的に、療育センターアポロ園内におもちゃライブラリーを置き未就学児対象に地域開放しました。通園児とおもちゃライブラリー利用児との交流が生まれることも目的としています。

- ・利用人数 354人(平成27年度 294人)
- ・貸出点数 338点(平成27年度 302人)

(7) 就園・就学・移行児・保護者支援事業

児童発達支援事業・個別指導事業等で当園を利用している児童の保護者を対象に、保護者への集団アプローチや、同じような悩みや不安を抱える保護者同士での懇談会、情報交換、学習会などを実施しました。また、就学や就園を控える保護者が先輩保護者の体験談を聞き知見を深めるとともに中野区関連の保育園・幼稚園情報、就学事情を周知できるように支援しました。

- ・保護者プログラム参加延人数 64人(7回開催・児童発達支援事業利用保護者)
- ・めだかの会参加延人数 14人(3回開催・個別指導利用保護者)
- ・就学懇談会参加延人数 28人、資料送付101人(2回開催・個別指導・児発事業利用者)
- ・就園懇談会参加延人数 19人(1回開催・児童発達支援事業利用者)

(8) 児童発達支援事業利用児のきょうだい対応保育人事業

児童発達支援事業では、通園児への日常生活における基本動作や集団生活への適応指導など、療育を通して保護者も含め実施していることから、通園児と一緒にきょうだい児が来園した時、きょうだい児に対応する保育人を確保してきょうだい児を支援しました。

- ・登録児数 8人(平成27年度 13人)
- ・利用延件数 109件(平成27年度 171件)

(9) 中野区立療育センターアポロ園地域資源啓発事業

—私立幼稚園・保育園関係者対象研修会—

発達障害児に対する正しい理解と適切な対応を促進する目的のもと、地域の私立幼稚園や保育園の保育者を対象に学習会を開催しました。

①第一回開催日 7月22日(金)

テーマ「発達障害概説」—自閉症スペクトラムを中心に—

- ・申込人数 35人
- ・参加人数 34人

②第二回開催日 2月3日(金)

テーマ「子どもの発達を促す遊び」～感覚統合の視点から～

講師：首都大学東京健康福祉学部作業療法学科 准教授 伊藤祐子

- ・申込人数 40人
- ・参加人数 38人

(10) 福祉サービス第三者評価の受審

東京都福祉サービス第三者評価を実施し「とうきょう福祉ナビゲーション」へ結果を掲載しました。

- ・評価機関 株式会社ケアシステムズ

(11) 「中野区療育センターゆめなりあ」への業務引継ぎ

平成 28 年 9 月開園した中野区療育センターゆめなりあ開設に伴い、引継ぎ業務を行った。

- ・ゆめなりあ移行の対象児童数・対象園数
  - 児童発達支援事業 8 人（平成 28 年 10 月時点）
  - 個別指導事業 31 人（平成 28 年 11 月時点）
  - 巡回訪問事業 41 園、155 人（平成 28 年度末）